

## 指導計画

1 単元名 「学校の周りの自然環境を調べよう」

## 2 目 標

学校周辺の自然環境を観察し、自然環境地図に表す活動を通して、自分たちを取り巻く地域の環境について知り、かかわりを深められるようにする。

## 3 評価規準

関心・意欲・態度	地域の自然環境とかかわる体験や観察や、活動のまとめに進んで取り組もうとする。
思考・判断	観察したことや調べたことから、身近な環境について自分なりの考えをもつことができる。 見通しをもって学習計画を立て、追究することができる
技能・表現	調べたことや考えたことを記録や地図にまとめることができる。 まとめたことをわかりやすく伝えることができる。
知識・理解	自分たちを取り巻く地域の自然環境について知る。

## 4 指導と評価の全体計画 (全19時間)

主な学習活動	時間	学習形態	活動場所	教師の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価の方法)
校区内にある神社の境内に出かけ、音探しをする	2	一斉 (学年)	校外 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習における観察や調査の仕方などを想起させることにより、五感を使っていることに気付かせていく。</li> <li>日常生活では聞き逃しているような音にも意識を向けられるよう、活動の時間を十分確保する。</li> </ul>	【関】 身近な環境から聞こえてくる音を探そうとしている (ワークシート・観察)
前時の体験をもとにして、自分の家の近くで音探しを行う		個別	各家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>自力で多くの音を探せるよう、音探しの視点(音の種類、大きさ、聞こえてくる回数など)を与えておく。</li> </ul>	
家の近くでの音探しの結果を発表し合い、自分の結果と比べるそれぞれの音が聞こえる環境について考える	1	一斉 (学級)	各教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の結果と比較しながら聞くことができるよう、音探しの視点をもとにして、発表を聞くよう促す。</li> <li>発表された内容から、どんな場所で音探しをしたのかを考えさせることにより、自分たちの住む地区の様子について目を向けさせていく。</li> </ul>	【思・判】 自分の体験や観察をもとにして、音の種類から周囲の様子を考えることができる (ワークシート・観察)
音探しでの体験をもとに、自分なりの視点をもって学校周辺を観察する	2	一斉 個別 (学年)	校外	<ul style="list-style-type: none"> <li>五感のうち聴覚を用いて体験したことを振り返らせ、他に使える感覚はないか考えさせる。</li> <li>全員が観察の視点をもてるよう、個別指導を行った後に活動を開始する。</li> <li>自分の視点を大切に活動できるよう、個別学習の形態をとる。</li> </ul>	【関】 自分なりの視点をもって、観察しようとしている (ワークシート・観察)

<p>前時の観察の結果を発表し合い、自分とは異なる見方や考え方があることを知る</p>	<p>1</p>	<p>一斉 (学級)</p>	<p>各教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の結果と比較しながら友達の発表を聞くよう促す。</li> <li>・友達の発表内容で参考になると思うものを自分の活動にも取り入れていってよいことを知らせる。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>友達の発表から、自分たちの身の回りの様子について知る (ワークシート・観察)</p>
<p>自然環境地図作りのための自分の視点を定める</p>	<p>1</p>	<p>一斉 個別 (学級)</p>	<p>各教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の周りにおける具体的な自然環境に意識を向けられるよう、クラス全体で話し合う場面を設けていく。</li> <li>・自分の課題を大切に活動できるよう、観察の視点を定める場面では個別学習の形態をとる。</li> </ul>	<p>【思・判】</p> <p>自然環境地図づくりに向けて自分なりの視点を定めることができる (ワークシート・観察)</p>
<p>班ごとに野外観察の活動計画を立てる 自分たちが決めた視点をもとにして野外観察を行う 発見した内容をワークシートに記入する</p>	<p>5</p>	<p>同じ視点をもった小集団 (学年)</p>	<p>各教室 校外</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察が深められるように、前時のワークシートをもとにして、同じ視点をもった児童を集め、あらかじめ班に分けておく。</li> <li>・観察の視点が具体的にない児童には、これまでの活動内容をもとにしていくつかの視点を示していく。</li> <li>・観察後、ほかの結果と比較をしやすいように、ワークシートとして共通の白地図を使用する。</li> <li>・自分たちの課題に沿った観察ができるよう、各班の計画に沿って、班ごとに活動する。</li> <li>・絵や文での記録を中心とするが、必要に応じてデジタルカメラを使用することができるよう、準備しておく。</li> <li>・保護者などの応援をお願いし、児童の安全を確保する。</li> </ul>	<p>【関】</p> <p>観察に進んで取り組もうとしている (ワークシート・観察)</p> <p>【思・判】</p> <p>班での観察の視点を定めることができる (ワークシート・観察)</p> <p>【技・表】</p> <p>感じたことや見つけたことを記録することができる (ワークシート・観察)</p>
<p>野外観察の結果をもとにして環境地図を作成する 野外観察や自然環境地図づくりを通して気付いたことや考えたことをまとめる 〔原稿作成と発表練習は国語科で7時間〕</p>	<p>4</p>	<p>同じ視点をもった小集団 (学年)</p>	<p>各教室 図書室 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境にかかわってまとめていくことを意識させるために、どのような視点で観察をしてきたのかということを振り返らせてから、活動に移らせる。</li> <li>・表現の方法については限定しないが、発信する相手がいることを意識させ、見てわかる地図を目指すよう促す。</li> <li>・班での話し合いの方向やまとめ方によって、図書室やコンピュータ室を利用して、資料を集めてもよいことを知らせる。</li> </ul>	<p>【関】</p> <p>伝えることを意識しながら、自分たちの観察結果をまとめようとしている (ワークシート・観察)</p> <p>【思・判】</p> <p>自然環境地図作りに必要な情報や観察の結果を選ぶことができる (ワークシート・観察)</p> <p>【技・表】</p> <p>観察の視点をもとに、自分たちの気付きや考えを自然環境地図に表すことができる (自然環境地図・観察)</p>

<p>保護者との交流会を開いて、調べたことや考えたことを発表したり、昔の沢野地区などの様子について聞いたりする</p>	<p>2</p>	<p>一斉 (学級)</p>	<p>各教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の結果と比較しながら聞くよう促す。</li> <li>・保護者との交流をしやすいように、発表後、班単位での活動を取り入れる。</li> <li>・交流会が円滑に進むよう、保護者に交流会の内容をあらかじめ知らせておく。</li> </ul>	<p><b>【技・表】</b> 自分たちの気づきや考えを友達や保護者に伝えることができる (ワークシート・観察) (発表の様子)</p> <p><b>【知・理】</b> 友達の発表や保護者との交流から、自分たちの身の回りの自然環境について知る</p>
<p>学習の振り返りをする</p>	<p>1</p>	<p>一斉 (学級)</p>	<p>各教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学習と比較したり、新たな情報を得たりできるよう、各クラスの自然環境地図を一カ所にまとめて展示しておく。</li> <li>・保護者との交流会での気づきを発表し合ったり、過去の資料を見せることによって、時間の経過による自然環境の変化に目を向けさせていく</li> <li>・文章化が苦手な児童も自分の学習の振り返りを表すことができるよう、まとめの過程にウェビングを取り入れていく</li> </ul>	<p><b>【思・判】</b> 自分の学習を振り返り、地域の自然環境に対する自分なりの考えを具体的な言葉で表している (ワークシート・観察)</p>